

## 「子育て応援ひろば」活動の概要とこれから

2011年12月1日

報告者：NPO法人ココネット・ママ

### 1、NPO法人ココネット・ママの紹介

平成16年4月にNPO法人格を取得し、子どもの一時預かりや、集団託児を行う「育児サポート事業」、「学童保育室の運営」子育て中の親と子どもを対象とした「イベントの企画運営」、そして子育て支援者の育成を目的とした「講座運営事業」の4つの事業を柱として郡山市を中心に県内全域で活動をしています。現在は郡山市から「ファミリーサポートセンター事業」「子育てボランティア養成講座」の運営を受託して、子育て環境の充実に尽力しています。

### 2、背景

震災から9ヶ月が経とうとしています。非難を決断した方、福島での生活を決断した方、それぞれの思いを目の当たりにしてきた日々でした。福島での生活を決断した方も日々、選択に迫られているといいます。子どもを外で遊ばせてもよいのか？食品はこれで良いのか？小学校に通う子どもの親から、「うちは学校で出される牛乳を飲ませないようにしたし、飲み水も水筒を持たせています。」「新米になったら米飯給食時は持参します」9ヶ月の間、親も子どもも心身ともに疲れ果てています。多くの情報の中から、自分が必要としているものを選別しながら理解を深めなければならない「放射能」という問題。ある避難地域の先生からは、「子どもたちが大人の顔色をみて行動することが多くなった」「家と学校で態度を変えて生活をしている子どももいる」と聞かされました。ただでさえ地域の人間関係が希薄になってきていることや父親の育児参画が進まず、母親だけが子育てを担う傾向も強まっている今日、この震災でさらに家庭の所得格差・地域の安心、安全が失われているなど、挙げればきりがありません。ココネット・ママが子育て支援に携わってきた中で、最も強く感じることは、「子育て支援は親支援」。子どもが元気で安全に生活を送る為には、親が元気であることが大前提です。

子育て中の母親たちに聞くと「話を聞いてくれるだけでいいんです。同じ様な境遇の人に話を聞いてもらって分かってもらえるだけでいいんです。」「大人と話がしたかった。」信じがたいことですが、母親は「孤独で日々選択を迫られながら子育てをしている」これが現状なのです。

東日本大震災の後、避難を余儀なくされている方々は「変わってしまった生活」の中で、離れ離れになった家族、今後の見通しが見えない生活。様々な不安を抱えた親を見ている子どもの不安。その不安を抱えた子どもを見守る親の不安。抜け出せない状況にあることはすぐに想像ができました。そんな親子の為、ココネット・ママに何ができるかと考え「集まってみんなで話すことができる場所、仲間がいることを実感できる場所、生活の悩みや不安のSOSを発信できる場所」を提供できればと、この「子育て応援ひろば」活動を開始しました。

### 3、「子育て応援ひろば」活動の概要

#### 【目的】

- ① 子育て中の親に他者とのコミュニケーションの場を提供し、コミュニティの構築をはかる。  
(仮設住宅生活での孤立を防止する)
- ② 広場を提供することで、利用者の悩みや不満を聞きとり、絆づくり支援事業の参加団体と連携しながら、利用者が安心して安全に生活できる環境をつくる。
- ③ 子どもへ遊びの場を提供しながら、新しい環境での生活に慣れるように促す。
- ④ 相談業務の役割を果たすため、密室育児に陥ってしまう危険を回避し、避難生活や仮設住宅生活のストレスを緩和することができる。

#### 【概要】

実施場所：県内の仮設住宅地内の集会所及び近郊の公民館等

実施日時：平日の午前中10時から12時、または午後1時から3時の開催を基本とする。

対象：子ども（中学生以下）を持つ親とその子ども及び家族。

参加費：無料

内容：

- ⑤ 大人向けしゃべり場  
・お茶などを飲みながら、大人同士の時間を過ごし情報交換や日常の自分の吐き出しを行う。
- ⑥ 大人向け手作りの会  
・参加者にアンケートを行い、希望の手芸やおもちゃ作り等の手作りの会を開催する。
- ⑦ 親子参加おもちゃの会  
・就学前の乳幼児を対象とし、日常生活の場を離れて遊びに集中できる場で過ごす。
- ⑧ 子どものお楽しみ会  
・グッドトイ委員会推奨のおもちゃを集めてのおもちゃの広場を開催する。

#### 【活動事例1】

H23年11月1日(火)10~12時 葛尾村仮設住宅旧中郷小学校 集会所

参加者：大人16名 子ども0名(子育て中の大人0名)

内容：おもしろパペットづくり

#### 【活動事例2】

H23年11月25日(金)10~12時 葛尾村仮設住宅齊藤町田地内(館跡) 集会所

参加者：大人10名 子ども1名(子育て中の大人1名)

内容：エコたわしづくり



#### 【利用者の声】

- \*集会所で今回のように何かを作る企画は初めてで楽しかった。
- \*とにかく楽しかった。(集まってワイワイ言いながら制作したりお茶御飲んだりするのは楽しい)
- \*ここ(仮設住宅)では日中何もすることがない。(葛尾にいるところは野菜作りで忙しかったのに)。
- \*中にいても(家)暇なようで忙しい。(集まってやるのは良いね)。
- \*草むしりしかしたことないから、教えてもらってありがたい。
- \*夢中にできるものがあるのは良いね(葛尾の家から)編み棒取ってくるか~。
- \*もっと子どもがいると思ってきたのですが、場違いな感じがしてちょっとびっくりしました。
- \*孫のところに行ったときに(作品を)持って行ってあげたい。

#### 4、今後の活動

少しでも多くの仮設住宅で取り入れてもらえるように、担当者に対して「子育て応援ひろば」活動の紹介と必要性を伝えていきます。その中で、参加者の要望を伺いながら必要とされるプログラムを作成しつつ、子育て中の親子を中心に、生活の不安や悩みなどのSOSを発信できる場を作っていきます。

各関連機関と連携を取りながら、県内全域の仮設住宅を可能な限り訪問し、参加者の声を拾い上げていきたいと考えています。

#### 5、東日本団震災支援全国ネットワーク(JCN)やふくしま被災者支援ネットワーク(絆ネット)への要望

それぞれの団体が活動する中で得た情報の交換や、活動の中で感じた疑問・問題点など話し合え場を設定していただきたいと思います。